

富士市のごみを考える会通信2012年9月号



発行:NPO 法人富士市のごみを考える会 2012年9月13日
お問い合わせ:富士市水戸島 343-1-302 縣 昌司
Tel:fax:63-5697 mail: temp00039229@ab.thn.ne.jp
HP: <http://fujigomizero.sakura.ne.jp>

<活動報告>

1). 平成24年第1回 紙パックリサイクルに関わる市民・自治体・事業者・団体 フォーラム

- ① 日時:平成24年8月24日(金) 13:30~16:30
- ② 場所:ふじさんめっせ 1-2 会議室
- ③ 内容:基調講演・講演・取り組みの報告に引き続き、テーマ「紙パック回収量の向上と、古紙・雑誌への紙パック混入について」のパネルディスカッションが以下の内容で行なわれた。

司会 :渡邊 孝正(全国牛乳容器環境協議会)

市民 :時田 祐佐(富士市のごみを考える会 がれき見学会事務局)

自治体 :高梁 宏典(富士宮市 環境経済部 生活環境課 廃棄物対策係)

飲料メーカー :青木 隆明(株 明治 CSR推進部 CSR推進部長)

紙容器メーカー:横尾 耕一(凸版印刷(株) 生活環境事業本部開発促進本部長環境担当)

製紙メーカー :村松 永教(信栄製紙(株) 総合企画室 室長)

古紙回収業者(代理):猪瀬 秀博(株 エコイプス 代表取締役)

質疑応答

- 課題は回収率が低い点である。
- 分別して資源化する習慣が無い。
- 価値が高い点のPR不足。
- 手間がかかるわりに単価が低い。
- ペット回収率が高いのは、単純化(色の統一)や、ラベルを切り易くする等メーカー側の工夫がある。
- 回収を拠点回収にすべき。(雑紙と混ざってしまい価値を低下させる。)



2). 吉原小学校環境教育(対象4年生)3回実施 第3日目

- ① 日時:平成24年8月31日(水) 8:30~9:30
- ② 対象:富士市吉原小学校 4年生 3クラス-107名
- ③ 内容:会員9名参加し分担して授業を進めた。
 - 当日は大雨のため、予定の校庭に埋めた生ごみの状況、虫などの観察を中止。(9月10日に実施)
 - 教室にて、動画画面でペットボトルの生産、再生の仕組み等を通して、3Rの意味、その大切さ、分別の大切さを学んだ。

質問も多く、学校での環境学習が進んでいると感じた。



3). 青葉台小学校環境教育(対象4年生)3回実施 第3日目

① 日時:平成24年9月4日(火) 10:25~12:05

② 対象:青葉台小学校 4年生3クラス 88名

③ 内容:会員9名参加し分担して授業を進めた。

- 夏休み前(7月11日)に埋めた生ごみがどうなっているか。虫はいるか。12班の夫々の場所を掘り起こした。たまねぎの皮、卵の殻、ビニール袋等が残っていた。虫も見つけ、虫眼鏡、顕微鏡で観察した。
- 体育館にて、動画画面を通じて、実際行なわれているペットボトルの生産、再生の仕組み、3Rの意味、何故洗うのか、何故キャップやラベルを分別するのか等分別の大切さを学んだ。

生徒の質問や回答から環境学習の取り組みが進んでいると感じた。



<これからの予定>

1). 「消費連 生活展」

① 日時:平成24年9月22日(土) 10:00~13:00

② 場所:フィランセ西館

③ 活動:会の活動パネル展示、会PR

2). 「第32回市民福祉まつり」

① 日時:平成24年10月21日(日) 9:30~15:00

② 場所:中央公園西側 イベント広場

③ 活動:リユース食器

3). 「第6回富士市環境フェア」

① 日時:平成24年12月1日(土) 10:00~13:00

② 場所:ふじさんめっせ

③ 活動:リユース食器、会活動PR等

4). リユース食器関連

① 地区文化祭(青葉台、広見等)

② 静岡大学 学園祭

5). 富士市のごみを考える会主催の講演会を11月24日(土)に予定しています。

(案)「高齢者を取り巻くごみ問題」をテーマにパネルディスカッション方式で行なう予定。

内容の詳細はその都度通信で報告します。皆様の積極的な参加をお願いいたします。